

# 第4学年 社会科学学習指導案

日 時 平成18年2月2日（木）5校時  
場 所 住田町立下有住小学校 4年教室  
学 級 4年生（男8名・女3名・計11名）  
指導者 小嶋 秀一

- 1 単元名 2 県のさまざまな地いきの様子  
(2) 葛巻町の人たちの暮らし

- 2 単元について  
(1) 教材について

社会科の第3・4学年の目標に「地域における社会的事象を観察、調査し、地図や各種の具体的資料を効果的に活用し、調べたことを表現するとともに、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力を育てるようにする。」とある。その力を育てるために、県の様子について、産業や地形条件から見て県内の特色ある地域の人々の生活について、資料を活用したり白地図にまとめたりして調べ、県の特色を考えるようにすることが大切である。

「産業や地形条件から見て県内の特色ある地域の人々の生活」を調べるとは、県内の特色ある産業や地形が見られる地域を取り上げ、そこで産業に携わったり生活したりしている人々の生活を具体的に調べることである。これを受け本単元では、海沿いの宮古市の人たちの暮らし、高い土地にある葛巻町の人たちの暮らし、工業がさかんな北上市の人たちの暮らしを取り上げて学習することにする。

高い土地にある地域として取り上げた葛巻町は、北上高地の北部に位置し、平地に乏しく、町の大部分を森林が占めている。また、気温が低く、稲作には向かない気候・地形である。そのように農業を営む上で決して恵まれたとはいえない環境の中で、気候や地形などの条件を克服し、酪農をさかんにしている様子を考えさせ、県内には様々な地域があり、人々が生活していることを捉えさせたい。

本単元で取り上げた3地域の学習の中で、自分たちが住む地域との類似点や相違点は何か、県には様々な地形や気候があり、そこで人々が工夫して生活していることなどを捉えさせたい。そして、3地域の学習をもとにして岩手県全体の様子を把握させたいと考えている。本単元の学習を通し、自分たちがくらす県の地形や産業に関心をもたせるとともに、県の特色や自然や産業の相互の関連などについて考えさせ、自分たちの県に誇りと愛情をもち、地域社会の発展を願う態度を育てたいと考えている。

- (2) 児童の実態

中学年の社会科学学習は、第3・4学年をまとめて、そのねらいや内容が示され、自分たちがくらす地域の学習を行うことになっている。自分たちの学校の周りから学習を始めた子どもたちは、自分たちがくらす住田町へと学習の範囲を広げてきた。さらに、7月に実施した社会科見学では、釜石市にある清掃工場と下水処理センターを見学するなど、他の市町村に関しても少しずつ学習を進めてきた。また、家族でも買い物やレジャーの機会に、大船渡市や遠野市、北上市などに出かけている子どもも多く、自分たちが住んでいる住田町から視野を広げてきている。

児童は社会科の学習にも意欲的に取り組んでおり、地図帳ゲームなどを通し、地図にも興味をもってきている。自分でかいた岩手県地図に市町村名を書き、一人勉強として復習してくる子どもも見られる。ただ、八方位を用いて方位を表したり、色の違いで土地の高低を表すことは分かっても、地図と実際の地形とを関連づけることは十分にできていない。また、表やグラフなどに書かれている数値は正しく捉えられたとしても、その資料からどういうことが読み取れるのか予想する力も十分とはいえない。3年生の学習で、住田町の農家と山の仕事について学んでいるが、それらの産業が地形の特色を生かして営まれていることはよく理解できていない。

そこで、本単元では地図や土地利用図などの資料を効果的に活用し、地域にくらす人たちの生活が地形や気候と深く関わっていることを捉えさせたいと考えている。

(3) 指導にあたって

本単元に関わって、これまでは住田町のことを軸として学習を展開してきた。そこで、本単元では、住田町の人たちのくらしで学習してきたことをもとに、調べる観点を地形、土地利用、産業に設定し、住田町と葛巻町の人たちのくらしの共通点や相違点を比較しながら捉えさせたいと考えている。特に、同じ山間地でありながら、葛巻町が酪農がさかんな町であることに着目し、その理由を地図や写真などの資料をもとに予想・検証させたいと考えている。

また、本単元の指導に際しては、地図に関わる学習が多く取り入れられている。資料活用能力である地図の見方についての能力面は、社会科学学習における基礎・基本の一つであるので、地図の見方についてもきちんと指導したいと考えている。

3 単元の目標と評価

(1) 目標

- ・ 葛巻町にくらしている人々の生活の様子について関心を持ち、葛巻町の土地の様子や気候、さかんな産業、まちづくりの様子などについて意欲的に追究しようとする。 【関心・意欲・態度】
- ・ 葛巻町の産業や人々の生活の様子を、地形条件と結びつけて考えることができる。 【社会的思考・判断】
- ・ 葛巻町の特色について、資料を適切に読み取ったり、効果的に表現したりすることができる。 【観察・資料活用の技能・表現】
- ・ 葛巻町の地形や気候、産業、人々のくらしの様子について理解し、葛巻町の人々が地形条件を生かしながら生活していることを理解することができる。 【知識・理解】

(2) 評価

	【1】社会的事象への関心・意欲・態度	【2】社会的思考・判断	【3】観察資料活用の技能・表現	【4】社会的な事象についての知識・理解
評価規準	・ 葛巻町の人たちのくらしに関心をもち、意欲的に調べることができる。	・ 葛巻町で酪農がさかんになったわけを捉えることができる。 ・ 葛巻町の人たちのくらしについて、地形や気候などと関連付けて捉えることができる。	・ 葛巻町に関する資料を適切に読み取り、調べることができる。 ・ 学習して分かったことを学習シートなどにまとめ表現することができる。	・ 葛巻町の地形条件や気候について理解できる。 ・ 葛巻町の人たちのくらしが地形条件や気候の特色を生かして営まれていることを理解できる。

4 指導計画〔葛巻町の人たちのくらし〕(全4時間)

時数	ねらい	学習活動	資料等
第1時	高い土地にある葛巻町がどんな町なのか予想し、学習計画を立てることができる。 【1】	・ 葛巻町について知っていることを出し合う。 ・ 葛巻町の位置や気候について調べる。 ・ 資料をもとに、葛巻町について調べていくための学習計画を立てる。	・ 地形図 ・ 土地利用図 ・ 気温と降水量のグラフ ・ 写真
第2時	葛巻町で酪農がさかんになったわけを資料をもとに考えることができる。 【2】【3】(本時)	・ 生産額のグラフから葛巻町の農業は酪農が中心であることを捉える。 ・ 資料や写真をもとにしながら、酪農がさかんになったわけについて考える。	・ 地形図 ・ 土地利用図 ・ 写真

第3時	葛巻町の特産物やまちづくりの様子や葛巻町の人たちの願いを知ることができる。 【4】	<ul style="list-style-type: none"> <li>山ぶどうを利用した特産物があることを知る。</li> <li>高原に吹く強い風を利用して風力発電が行われていることを知る。</li> <li>自然を生かしたり，自然から新しいエネルギーを取り出したりしながらまちづくりを進めていることを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワイン工場の写真</li> <li>風力発電の写真</li> <li>ペレットストーブの写真</li> </ul>
第4時	葛巻町にいらしている人たちがどのようにいらしていたかまとめることができる。 【3】	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習を振り返り，葛巻町の人々のくらしやまちづくりについて紹介したいことを話し合う。</li> <li>紹介したいことをパンフレットなどに表す。</li> </ul>	

## 5 本時の指導

### (1) ねらい

葛巻町で酪農がさかんになったわけを，地形図や土地利用図，写真などをもとにして考えることができる。

### (2) 展開

段階	学習内容と活動	指導上の留意点	資料等
		◇評価の観点(方法) ※支援	
問題の把握	1 今までに学習してきたことを想起する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>葛巻町ではどんな農業していると思うか前時に予想したことを発表させる。</li> <li>資料から酪農が中心であることをおさえる。</li> <li>酪農の意味を説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>葛巻町の写真</li> <li>葛巻町の地形図</li> <li>主な生産物の生産額のグラフ</li> </ul>
	2 学習問題を確認する。 葛巻町でらく農がさかんになったのはなぜだろう。		
5分			
問題の追	3 学習問題の予想をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>乳牛が多いから。</li> <li>田んぼが作れないから。</li> <li>気候が適しているから。</li> <li>牧草がたくさん生えているから。</li> <li>土地が広いから。</li> </ul>	◇【2】(ノート) ※予想ができない児童に対しては，牧場の写真を見せ，土地が広いことや牧草地があることなどを予想させる。	(・牧場の写真)
	4 予想を交流し，検討する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の予想と比べながら聞かせる。</li> <li>予想の根拠も加えて発表させる。</li> </ul> ◇【3】(発言)	
	5 予想を確かめるための検証をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>乳牛の数が年々増えてきて，たくさん飼育してい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料をもとに様々な観点から検証させる。</li> <li>①人口と乳牛の数で住田町と比べた表から，飼育されている乳牛が多</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口と乳業の数の表</li> <li>土地利用図</li> </ul>

究	<p>るから。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平地が少なく，田んぼが作れなかったから。</li> <li>夏に涼しい気候が乳牛の飼育に適していたから。</li> </ul>	<p>いことをおさえる。</p> <p>②土地利用図から，田畑が少ないために稲作が行われていないことをおさえる。また，地形図から傾斜の厳しい土地であることを捉えさせる。</p> <p>③気温と降水量のグラフから，夏に涼しい気候が酪農に適していることをおさえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>酪農がさかんになった背景には，数種類の理由があることを捉えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気温と降水量のグラフ</li> <li>J Aのおじさんの話</li> <li>酪農家の歩みの年表</li> </ul>
33分			
まとめ	<p>6 酪農がさかんになったわけについてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>酪農がさかんになったわけをノートにまとめる。</li> </ul>	◇【2】	
7分	7 次時の活動を確認する。		

(3) 具体の評価規準

観 点	具 体 の 評 価 規 準		※ 支 援	評 価 方 法
	A (十分満足できる)	B (概ね満足できる)		
<p>【2】</p> <p>社会的思考</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>判断</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>酪農がさかんになったわけについて，資料を正しく読み取りその根拠もつけて予想することができる</li> <li>酪農がさかんになったわけを，土地や気候の様子，酪農家の人たちが努力したことから捉えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>酪農がさかんになったわけについて，予想することができる。</li> <li>酪農がさかんになったわけを，土地と気候をうまく利用したことから捉えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>酪農がさかんになったわけを予想するために適した資料を示し，自分の考えをもたせるようにする。</li> <li>酪農がさかんになったわけを板書に書かれていることをもとに捉えさせる。</li> </ul>	<p>ノート</p> <p>ノート</p>
<p>【3】</p> <p>観察・資料活用の技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な資料を活用して酪農がさかんになったわけを予想し，それを根拠もつけて説明することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料を活用して予想したことを説明することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が予想したことと比べながら聞かせ，似ている点や違う点に気付かせる。</li> </ul>	<p>発言</p>

〈別表指導計画〉

◇宮古市の人たちの暮らし（全5時間）

時 数	学 習 活 動
第1時	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮古市について知っていることを出し合う。</li> <li>宮古市と盛岡市の航空写真を比べながら、気がついたことを話し合う。</li> <li>航空写真や資料などをもとにしながら、宮古市の人々の暮らしについて予想する。</li> <li>予想をもとに、宮古市について調べてみたいことを出し合い、学習計画を立てる。</li> </ul>
第2時	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮古市の航空写真や地形図を見て、土地の様子について予想する。</li> <li>気温と降水量のグラフ、雪の降った日数、駅前の写真などを見て、気候の様子について予想する。</li> <li>資料をもとに、予想を検証していく。</li> <li>宮古市の地形や気候の様子について、分かったことをまとめる。</li> </ul>
第3時	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮古市の位置、宮古港の写真などから、宮古市でさかんに行われている産業について予想する。</li> <li>宮古市近海の図や読み物資料から、宮古市では漁業がさかんに行われているわけを調べる。</li> <li>写真や読み物資料から、鮭の栽培漁業の方法について調べる。</li> <li>他の栽培漁業や養殖の行われている様子について調べる。</li> <li>宮古市で漁業がさかんに行われているわけをまとめる。</li> </ul>
第4時	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客でにぎわう浄土ヶ浜の写真や、宮古市を訪れた観光客の数のグラフから、宮古市の観光業の様子について予想する。</li> <li>宮古市の名所やイベント、特産物について、パンフレットなどの資料をもとに調べる。</li> <li>宮古市にたくさん観光客が訪れるわけについて話し合い、宮古市では海や地形を生かして観光をさかんにしようと努力していることを捉える。</li> </ul>
第5時	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習を振り返り、宮古市の人々の暮らしやまちづくりについて紹介したいことを話し合う。</li> <li>紹介したいことをパンフレットなどに表す。</li> <li>パンフレットを見合い、宮古市の人々の暮らしやまちづくりの特色について確かめ合う。</li> <li>単元を振り返り、分かったことや感想などをまとめる。</li> </ul>

◇北上市の人たちの暮らし（全4時間）

時 数	学 習 活 動
第1時	<ul style="list-style-type: none"> <li>北上市について知っていることを出し合う。</li> <li>北上市の航空写真を見て、気がついたことを話し合う。</li> <li>航空写真や資料などをもとにしながら、北上市の人々の暮らしについて予想する。</li> <li>予想をもとに、北上市について調べてみたいことを出し合い、学習計画を立てる。</li> </ul>
第2時	<ul style="list-style-type: none"> <li>工業団地の写真、工場の多い市町村のグラフなどから、北上市でさかんに行われている産業について予想する。</li> <li>北上工業団地の様子について調べる。</li> <li>北上市では工業がさかんに行われていることを捉える。</li> </ul>
第3時	<ul style="list-style-type: none"> <li>北上市の地形、鉄道や道路などの交通の様子から、北上市で工業がさかんになっていったわけを予想する。</li> <li>北上市の交通の発達の年表や読み物資料から、工業がさかんになっていったわけを調べる。</li> <li>北上市で工業がさかんに行われているわけをまとめる。</li> </ul>
第4時	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習を振り返り、北上市の人々の暮らしやまちづくりについて紹介したいことを話し合う。</li> <li>紹介したいことをパンフレットなどに表す。</li> <li>パンフレットを見合い、北上市の人々の暮らしやまちづくりの特色について確かめ合う。</li> <li>単元を振り返り、分かったことや感想などをまとめる。</li> </ul>

## 授 業 を 見 る 視 点

この単元は、産業や地形条件から特色が見られる県内の地域を調べることを通して、県内には様々な地域があり、その中で人々が生活していることをとらえさせることが主たる内容です。

今回は、葛巻町の酪農が盛んになった理由について追究する授業です。これまでの検討会で社会科の特性である資料の活用を重視した授業を構想してきました。

授業研究会では、特に以下の点について協議していきたいと思いますので、授業参観の際には特に気を付けて見ていただきながら、たくさんのご意見等をいただきたいと思います。

- 1 問題の把握の段階で、主な生産物の生産額のグラフを提示します。このことにより、本時の学習問題を明確に意識させることができたでしょうか。
- 2 問題の追究の段階では主に予想の検証に資料を活用します。  
葛巻町で酪農が盛んになった理由として以下のように考えました。
  - ・乳牛が多いこと
  - ・田畑の少ないこと
  - ・田畑に適した土地の勾配でないこと
  - ・気候が乳牛や牧草にとって適切なことこれらの理由をとらえさせるうえで、今回提示した資料の内容は適切だったでしょうか。また、資料の内容を読み取り確認していく指導はどうだったでしょうか。
- 3 具体の評価規準で示したように、子どもたちは酪農が盛んになった理由をノートのまとめていたでしょうか。
- 4 学習態度等、学級経営上何かお気づきの点はなかったでしょうか。